



兵庫支部NEWS H20年 4月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hl-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

Vol.75-1

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

名倉勝征氏4年振り、2度目の優勝

第29回三金ゴルフ於神戸三田GC



(スタート前に記念撮影一後列左から松山、山田、高山、河野、名倉、前列左から、安徳、謝、山本、久芳 - 敬称略)

花曇りの3月29日神戸三田ゴルフクラブで9名が集い、楽しいひと時を過ごしました。

朝一番に、名越編集長の写真に全員が納まり、それぞれの思いを胸に秘めながら、スタートして行きました。新装になって、まだ工事中のホールが2ヶ所ほどありながらも、クラブハウスや食堂が美しく、コースのあちこちにペンキの匂いがする様なコースでした。

クラブハウスの都合により表彰式は近くの吉川温泉「よかたん」(炭酸ガス含有量が日本一と言われており、ぬるぬる感は抜群の温泉)の和室に移動して行われた。

名物の大きな優勝カップを手にしたのは名倉でした。

優勝の副賞は河野さんからのご提供「お米10kg」(お嬢様が嫁ぎ先の和歌山の名米だそうです)を頂きました。“河野さん想いもしなかったお心遣いを頂きましてありがとうございます。本当にあのお米は美味しいですね。紙上をお借りして、お礼を申し上げます。”



(優勝者名倉氏の第一ショット)

カップを手にしてじっくりと過去の優勝者を見てみると、15年前に第1回が開催され、優勝者は堀江先輩の名前が記録されたいました。カップにつけられた優勝者リボンは汗と涙の結晶そのもので、名誉あるコンペに名前を残せることに嬉しさを覚えます。

表彰式後にゲストの謝さんから“台湾にゴルフに行きませんか”とご提案を頂きましたが、小生は大いに関心を持っておりますが、どなたかご一緒できる方は居られませんでしょうか?

いずれにしても、松山幹事長をはじめ多くの方々のご尽力に感謝申し上げます。

閑話ながら、今年の新入社員の型を「カーリング型」と言われていますが、与えられた道を真っ直ぐに進むが、磨きすぎると直ぐに潰れたり、脱線すると言われています。今年も3週間の新人研修を担当して、正にこの感を強く感じた次第です。彼らの生まれた時期はバブル絶頂期で、じっとしているだけで欲しいものが手に入った時代、自己主張が弱く、他との競争心に欠けるように見えましたが、貴方の近くのフレッシュマンはどうですか? (名倉勝征氏記)



(2位久芳氏)



(3位河野氏)

第29回三金ゴルフコンペ成績表

順位	メンバー	卒年	学科	AW	IN	計	HD	NET	次HD
1	名倉 勝征	41	米英	47	46	93	17	76	14
2	久芳 健二	44	中国	58	42	100	16	84	15
3	河野 旺生	36	商	55	49	104	19	85	19
4	高山 行雄	45	米英	57	54	111	26	85	26
5	山本 信司	37	米英	48	48	96	9	87	9
6	謝 美華	ゲスト		58	53	111	19	92	19
7	安徳 信義	44	商	55	53	108	15	93	15
8	松山 仁	44	商	59	54	113	20	93	20
9	山田 紘昭	44	商	63	55	118	25	93	25

ドラゴン賞:安徳、名倉、山田、山本、久芳

リボン賞:河野、松山、安徳、名倉、山本



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店
安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑
Tel 078-271-1168
神戸市中央区中山手通
1丁目24-4

ドラゴンズビルB1F

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時か
会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理を
ご賞味ください。

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時か



兵庫支部月例会3月「三金会」

総会会場は新規開店イタメン店？

「三金会」3月例会は、3月21日（金）午後6時から、定例会場の「雲南茶苑」にて、大村支部長以下10名が出席して、まず故銭谷前支部長のご逝去を悼み、全員で黙祷を捧げた後、開催された。

出席者：大村実良(33商)平間正昭(37商)山本信司(37)二宮慶治郎(38米英)名越英昭(37米英)安徳信義(44)松山仁(44商)山田紘昭(44商)三宅隆志(59中国)佐藤研二(H8法律) 以上10名

大村支部長から、銭谷前支部長の葬儀に際し、同窓会本部村山昌生事務局長（初代兵庫支部長）に託して兵庫支部有志一同として、生花と香典をお供えした事が報告され、有志者の確認と分担額について打ち合わせ、余剰金を49日の法要のお供えとして送ることとなった。

7月5日（土）12時から開催予定の兵庫支部総会会場について三宅幹事から報告があり、新装開店予定のイタリアンレストランを予定しており、6000円程度の会費で開催できるよう交渉中とのことで、詳細は来月報告できる見込みとのこと。

今年は役員改選期になっており、次期支部長について話し合わせ、次の改選期には44年組が引き受けることを条件に、大村支部長の続投が内定した。

4月の「歩こう会」は花見が恒例となっているが、今年は開花時期が早い予想のため、第2日曜日の頃は盛りを過ぎていると思われるが、一昨年に続き姫路城とすることに決定した。

「囲碁の会」

第13回リーグ戦始まる

第12回リーグ戦は、級位者のみの2回目のリーグ戦として昨年6月から開催されたが、銭谷会長の辞任平間3段の会長就任などがあり、欠席者も多かった為リーグ戦未了のまま終わってしまった。

平間新会長の下、あらためて3月から全員参加によるリーグ戦を開始することになり、7名により2回戦総当たり方式で優勝を争うことになった。

また恒例となっている関西支部囲碁同好会との交流船は、4月26日（土）に三宮の囲碁クラブ「神戸サロン」で開催されることとなり懇親会を三金会会場の「雲南茶苑」で行う。



(熱戦を繰り広げる囲碁の会)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

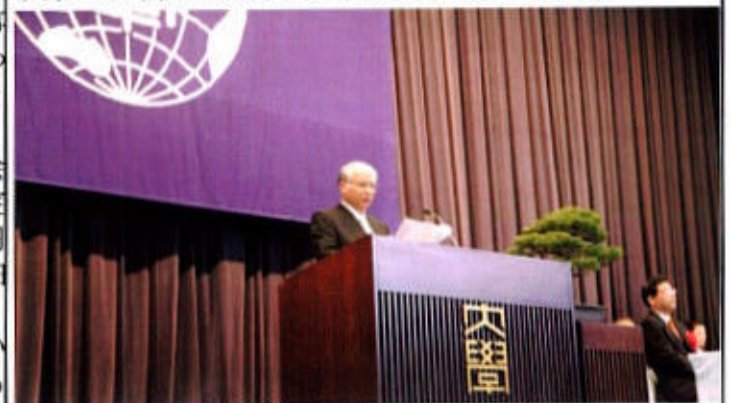
お申し込みは6回分3,000円で御願います

平成20年度北九州市立大学入学式

学部・大学院併せて約1600人が入学

平成20年度の北九州市立大学の入学式が北方キャンパスで4月7日（月）北橋健治北九州市長をはじめ山下建治同窓会会長などの来賓の出席のもと、厳粛に挙行された。

今年の新入生は、外国語学部、経済学部、文学部、法学部及び国際環境工学部の五つの学部、1438名、社会システム、国際環境工学の二つの博士研究科、法学研究科修士課程及びマネジメント研究科の専門職学位課程に入学した大学院生、あわせて157名、更に学部・大学院に入学した留学生59名である。



(入学式で式辞を述べる矢田俊文学長)

矢田俊文学長は式辞の中で、「3年前に法人化され「公立大学法人北九州市立大学」として再出発して、169項目にのぼる改革項目のうち既に約90%を完了し、その改革の内容は、①学部・学科の再編、②大学院教育の充実、③学生生活支援、④留学生支援の強化の四つに集約され、それぞれの項目について詳細に紹介し、この北九州市立大学で沢山のことを学び、大きく成長する為の体力・精神力・知力などの人間としての基礎を造らなければならない」と新入生を激励。



(入学式に出席した新入生および父兄)

九州六大学野球春季リーグ戦開幕

北九大徳永監督復帰第1戦を勝利で飾る

九州六大学野球春季リーグ戦は4月18日（金）ヤフードームで開幕し、北九大は開幕ゲームで九大を2-0で破り、4年前野球部員の不幸事により監督を辞任していた徳永監督の復帰第1戦を勝利で飾った。

第1週は九大相手に連勝したものの、第2週では、西南大に連敗し、リーグ優勝に向けて多難なスタートになった。

綾部山梅林親梅俳句大会投稿句集 順不同

堀梅や 香りが先に 花枝え
飲み過ぎて 野梅と知るも 尚も飲む
安徳

春の山 見渡す限り 梅香る
春霞 墨絵のごとき 梅の花
藤田

梅よりも 酒うめえー 寒紅梅
早春の ほのかに香る 梅の花
山田

青空に 紅白の梅 香くわしく
瀬戸の梅 美酒とともに 梅の花
久芳

春よ春 春の先駆け 梅の花
綾部山 梅と菜の花 乱舞する
赤松

春の海 綾部の沖の 船かすむ
綾部山 紅白の梅 咲きはこる
二宮

菜の花を ひねもすのぞく 梅の花
梅の花 ただひたすら 吞んで観る
澤田

綾部山 人も梅も 花ざかり
青空に 白く映える 梅の花
名越

晴天の 梅の花下 酒すすむ
晴天の 梅の花下 酒すすむ
岡本

親梅の 誘いことわり 意念かな
夢路にて 綾部の梅の におい香く
森

編集後記 (お詫びと言いつと闘病記と)
3月号に続いて、4月号の発刊の大幅に遅延いたしましたこと誠に申し訳ありません。
パソコンの修理の為、メーカーのサービスセンターにフリーダイヤルするも、当方はYahooのIP電話の為か接続できず、有料の電話番号(東京)を利用させられるはめになった。
センターの担当者はパソコンの状況を聞き、いろいろアドバイスしてくれる。即、入院させようと思ったのだが自宅療養も可能ならば試みる必要もありなんと先ずは全ファイルをCDにバックアップする。
20分~30分でフリーズしたりブラックアウトしたりする為、短時間の起動時間で少しずつCDにコピーしてゆくので時間のかかること!!
全ファイルのコピー完了後、最終的に再セットアップを試みたが、依然としてフリーズしてしまう。再セットアップが不十分なのかと再度試みたところ、途中でブラックアウトし、Windowsの起動が全く出来なくなってしまった。
こんな状態では費用も日数も相当かかることになり結局思い切って買換えすることにしたのが4月上旬である。
丁度この頃から風邪の症状がひどくなり、4月8日の免許更新の為の高齢運転者講習会は鼻をずるずるさせながらの受講となった。38.3度の発熱のため風邪薬を服用し何とか37.2度位まで下げたが体もだるく新しいパソコンのセットアップが思う様に進まない。
医者に行くと肺炎をおこしているかもと、X線胸部撮影の結果肺に影あり、肺炎を起こしている可能性ありと、更に精密検査のため神戸医療センターCT撮影の予約を入れる。大きな洗濯バサミのようなものを指にはさみ血液中の酸素濃度を測ると92%~93%とやや低下している。この測定をする度に3年前肺がんで亡くなった同期生の故森下綾夫氏がこの測定を目の前でし(この時初めてこの測定器を見た)数値が上がるまで酸素吸入をしていたのを思い出す。
抗生剤その他の薬を服用して熱も36.6~37.2度程度で推移するようになったが、少し体を動かすと直ぐにしんどくなってしまう。結局13日の歩こう会(姫路城で花見)は欠席することにした。
血液検査による「CRP定量」の数値が0.3以下であるべきところ、11.87と異常な高さで入院一步手前だとのこと。
薬が効いたのであろう、「三金会」当日の18日の朝は36.2度と平熱まで下がり、比較的気分も良いので「囲碁の会」「三金会」に出席したが、その晩また発熱した。
翌月曜日CT撮影による精密検査を受け、右肺下部に炎症の影あり、更に炎症を治癒してこの影が消えると、その裏に隠れているかもしれない「がん」の影が見えるかも、と恐ろしいことを言われる。ここでも血中酸素濃度を測られたが、95%とほぼ正常値に戻っておりちょっぴり安心する。しかし治るまで安静にしていることと注意される。
4月号作成が気になるが、新しいパソコンにバックアップしたファイルをインプット、せめて新聞作成に必要な写真や原稿などを少しづつでもと集めるが、観念して静養に努めたお蔭か、26日(土)の関西支部との囲碁交流会の数日前から平熱に下がり、気分も良く身も軽く感ぜられたので、予定通り出席し夜遅くまでカラオケなどを楽しんで帰宅した。今度はその晩も、翌日も平熱のまま。どうやらやっと快復したのではと思える。
そこで新聞作成に着手。新しいパソコンの操作に戸惑いながら、なんとか形が出来てきたが、大きなスペースが埋まりそうにない。そこで拙文ながら、これだけ遅れた事情を説明する必要があるのではと、長々と述べさせて頂きました。
本日の診察ではほぼ完治、あとは5月7日に予定のCTによる再検査の結果を待つのみと。(まさか肺がんになってことはないとは思いますが) 5月2日名越記

「歩こう会」3月例会

綾部山梅林「観梅会」

山田紘昭(44商)記

「歩こう会」3月例会は、3月9日(日)綾部山の観梅と、網干の史跡めぐりの会として開催された。

山陽電車網干駅に10時集合。駅前で二宮会長から

参加者の紹介があった。参加者は、名越顧問、藤田、河野、赤松、安徳、松山、久芳、山田の各会員とゲストは山浦夫妻、謝、岡本の4名の方



(網干駅前で参加者の紹介)

々であった。JR網干駅から歩いてきた澤田氏を加えて会員10名とゲスト4名の計14名の参加者となった。

網干駅から商店街に入り、最初に見学したのは丸亀藩(京極家)と龍野藩(脇坂家)の境界になる「境橋」。



(「境橋」)

豊臣公縁の「大覚寺」(浄土宗)や毎年4月3・4日大茶碗で頂く「大献茶会」で有名な龍門寺(禪宗)を見学した。

かつてこの地を治めて、讃岐へ転封となった丸亀藩(京極家)が、飛び地であるこの網干を治めていた時の陣屋跡が歴史資料館になっており、ここで土地の名士からこの地の歴史を聞いた。「さっきの山本という家は、マッチ工場のオーナーだった人の家だ。」とのこと。



(山本家住宅)

掛保川を渡り、富嶋神社(水運の神様)で礼拝。更に歩を進めると橋のたもとに、「播磨十水の一つ篠井乃水」という標柱をみつけた。名水と言うからには「きっと飲めるだろう」との期待で急いで来てみると湧き水はなく、井戸のようであった。立て看板には、「蛤水、霊泉にて甘味あり」とあった。安徳氏が柄杓で「さあ飲んでみるか、澄んでいるぞ」と掬ってみたが、誰も飲むものはいなかった。



(篠井乃水一建屋に井戸が)



畑の畔道を進んで国道に出ると車の通行量が多くなった。車で綾部山梅林に来る人が多いようだ。「綾部山梅林」の大看板が立っていた。国道から綾部山に向

かう両脇は、黄色一面の菜の花畑だ。広大な面積の菜の花畑は圧巻だった。

いよいよ綾部山梅林だ。入園料500円を支払い、俳句記入用紙も各自持っていく。



(綾部山梅林入口のにぎわい)

梅林に続く道の両側は野菜や蜂蜜など土地の産物や菓子などが販売されていた。藤田氏は蓮根を買っていた。

ポカポカ陽気の春本番を思わせる陽気で、しかも、日曜日であった為か、山道は大勢の人で大混雑であった。

既に12時は30分近くが過ぎており、又、疲れも出ている時であったので、誰からともなく「飯にしよう!」と言う掛け声に衆議一決。見晴らし等関係なく昼食となった。



(昼食風景)

各自持参したビール紹興酒、焼酎、清酒や、豚の耳、タンドリーチキン、するめ等が並び、各自が好き好きに飲み食いした。

小生もビール、紹興酒、清酒とかなり飲みいっぺんに酔いが回ってきた。おでんや、インスタントラーメンまで現われて、おにぎり等の弁当を食べながらしばしの歓談。しばらくして「さあ、みんな一句書いて」と名越氏の一声で各自それぞれ、一句ひねて投稿用紙に書き始める。そして、それを名越氏が集め、丹念に控えておられた。



(後列左から、赤松、山田、河野、岡本、澤田、松山、二宮
前列左から久芳、山浦、同夫人、謝、藤田、名越、安徳)

寒紅梅(紅)、玉英(白)等、山一面に約2万本あるという梅の木は満開であった。見事に咲いていたが人出が多く梅の季節にしては暖かいので、寒気の中で凜と咲く梅の香りを楽しむ雰囲気ではなかった。

しかし小生は久しぶりに3金「歩こう会」に参加し会員諸兄との歓談を楽しむことができた。ゴルフの話も出来たし、楽しい一日であった。

「世界の梅展」は鑑賞せずに、南入口で集合写真を撮り、ここで新舞子からのバス乗車組と徒歩組に分かれて帰途に就いた。小生はバスの中では夢の中であった。